

The Science Behind Amway

健康寿命を探求する



Our Vision

アムウェイの目指す未来



アムウェイは、創業以来、常にヘルス＆ウェルネスをすべての活動の中心に据えてきました。科学は、ヘルス＆ウェルネスへのサポートの重要性が、これまで以上に高まっていること、そしてその鍵を握るのが細胞の健康であることを示しています。ヘルス＆ウェルネスを支えるためのホリスティックなソリューションは世界中に存在し、アムウェイでは800名を超える科学者・技術者・エンジニアが、その可能性を見出す研究に情熱を注いでいます。世界75カ所以上のアムウェイ研究所では、日々、さまざまなブランドを横断して革新的な研究と発見が生まれています。アムウェイの研究開発(R&D)チームは、より良く、より長く生きることをサポートすることに全力で取り組んでいます。

アムウェイが責任ある企業として示す科学へのたゆまぬ探求心、そして世界有数の専門家と共に進めている取り組みについて、ご紹介します。



アムウェイの「ヘルス＆ウェルネス」への取り組みは、明確なビジョンに基づいています。それは——人々がより良い人生を生きる力を持つるように支援すること。このビジョンを支えているのは、科学的研究とイノベーションへの揺るぎない情熱です。私たちは、業界をリードする専門家たちと連携し、最新の研究動向を理解するだけでなく、ヘルス＆ウェルネスの未来を切り拓く存在であり続けます。

効果的で科学的根拠に基づくソリューションを届けるという姿勢は、アムウェイの本質そのものです。私たちはパートナーシップを重んじ、確かな科学的基盤を築く専門家たちと協働します。「個の尊重」を信じ、高品質な製品を通じて、人々が自分らしく、より良く生きる力を育みます。「インテグリティ(誠実さ)」を貫き、すべての製品が最高水準を満たすよう、たゆまぬ企業努力を続けます。そして「責任」を大切に、あらゆる意思決定において寄せられる信頼に誠実に応えます。これらの価値観は、アムウェイの変わらぬ約束であり、私たちがこれまで、そしてこれからも、科学とイノベーションに真摯に向き合い続けるための揺るぎない礎です。

アムウェイ CEO

マイケル・ネルソン

Michael Nelson, CEO, Amway



サイエンスへの探求こそが、アムウェイのすべての活動の原動力です。私たちは常に最新の研究を追求し、世界の第一線で活躍する専門家と協働することで、ヘルス＆ウェルネスにおける最先端の知見を製品開発に反映しています。これからの中未来に向け、アムウェイは揺るぎない信念のもと、科学に裏付けされた確かなエビデンスと、明確なビジョンに基づいた製品をお届けしていきます。その目的は、実証された先進的なイノベーションの力で、人々がより健やかに、いきいきとした人生を送ること、それを支えることです。

アムウェイ 最高研究開発責任者

クリスティ・ペルク

Kristi Pelc, Chief Research Development Officer, Amway

Scientific Excellence

卓越した科学

Innovation. Inspired by you.

私たちは今、これまでになく長寿時代を生きています。だからこそ、より長く、そしてより豊かに生きるために、人生の時間に「質」をもたらす健康が求められています。植物の力、確かな科学、そしてホリスティックなアプローチを活かし、人々が健康でアクティブに過ごせるようにサポートする—それがアムウェイの研究開発(R&D)の使命です。この情熱こそが、現在そして未来の科学的進歩を共に切り拓く、世界のトップレベルの専門家との協働を支えています。それではまずアムウェイの研究開発(R&D)について、ご紹介します。

アムウェイ ボタニカルリサーチセンター

科学を通して、自然の未来を探求する中国東部に広がる約48ヘクタールの研究拠点。そこは、科学的イノベーションと自然の調和が息づく場所です。最先端のテクノロジー、清らかな栽培環境、そして世界を牽引する科学者たちの知見がひとつになり、自然が秘める純粋な力と可能性を、科学の眼でひもといっています。





Over

800scientists,
engineers and technicians

800名を超える科学者、技術者、エンジニアが、世界各地の大学・科学研究所・顧問委員会と連携し、世界トップレベルの研究と製品開発を推進しています。アムウェイの研究者たちは、健康寿命を支えるホリスティックなアプローチの探究に日々取り組んでいます。

Over **75**Amway labs
around the world

Over

750current and pending patents
worldwide

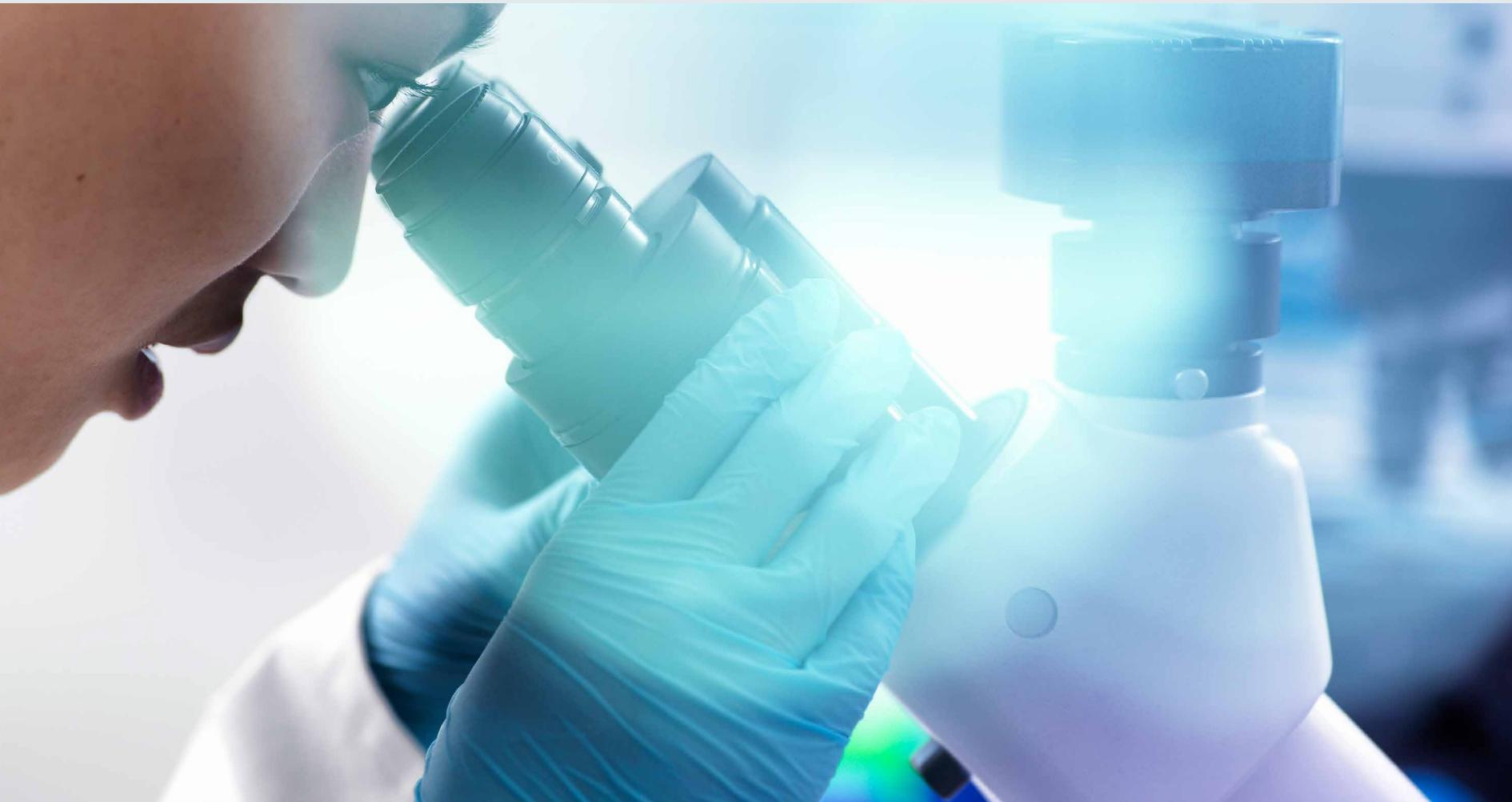
世界で750件以上の取得済みおよび出願中の特許。

特許とは、政府が発明者に付与する知的財産権であり、その発明を他者が無断で製造・使用・販売することを防ぐ制度です。特許は、装置、成分、製法、技術プロセスなどの新しい発明を保護し、通常20年間の権利が認められます。アムウェイが世界で750件を超える特許を保有していることは、革新への強いコミットメントと、独自の製品や技術開発に注力している姿勢を示しています。



Scientific Advisory Board

アムウェイ科学顧問委員会



アムウェイは2003年に、科学顧問委員会を設立しました。科学顧問委員会とのパートナーシップが長年にわたり成果をあげている理由は、アムウェイの科学者たちが顧問委員と築いてきた深い信頼関係にあります。

アムウェイの研究開発（R&D）は、植物や植物栄養素に関する専門知識を活かし、科学的に注目されている植物由来成分に関する研究を行いながら、その発展を後押しするための資金提供も行っています。また、科学顧問が提案する研究への支援も積極的に行ってています。アムウェイは、社内の科学的知見を補完し、さらに強化するために、世界の第一線で活躍する専門家を科学顧問委員として迎えています。

この委員会には、ヘルス＆ウェルネスの幅広い分野における臨床・研究の専門家が参加しており、その領域は皮膚科学、腸内環境、栄養学、体重管理、加齢メカニズム、食品科学などの幅広い領域に及びます。科学顧問委員は、現在および将来の研究分野に関する洞察を提供し、研究活動の方向性について助言を行うほか、科学的な提言や、世界有数の研究機関との新たな共同研究の架け橋となっています。彼らの専門知識と、最新の科学文献に基づく綿密なレビューによって、細胞の健康と加齢の理解を深めるうえで科学顧問委員会は重要な役割を果たしています。その結論として、科学顧問委員会の科学的見解が一貫して示すのはひとつの事実です—最適な健康寿命の基盤は、細胞レベルにあるということ。健康寿命を支えるためには、まず自身の細胞を理解することが不可欠なのです。



詳しくは[こちら](#)



ゲイリー・ウィリアムソン 博士
クイーンズ大学(イギリス)
生物科学部 人間栄養・健康学 教授

Gary Williamson, PhD, FRSC
Queen's University, UK



デビッド・ウォーカー 博士
カリフォルニア大学ロサンゼルス校(アメリカ)
統合生物学・生理学部門 教授

David W. Walker, PhD
University of California, Los Angeles, USA



オラン・クォン 博士
梨花女子大学(韓国)
栄養科学・食品管理学科 教授

Oran Kwon, PhD, MSD
Ewha Womans University, Korea



プルニマ・クマール 歯学博士・博士
ミシガン大学(アメリカ)歯学部
歯周病学・口腔医学講座 特任教授

Purnima Kumar, DDS, PhD
University of Michigan, USA



ジャン・クルトマン 医師
IUF・ライブニツ環境医学研究所(ドイツ)
皮膚科・環境医学 教授

Jean Krutmann, MD
IUF – Leibniz Research Institute for
Environmental Medicine, Germany



チョウ・ソyun 医師・医学博士
ソウル大学 ボラメ医療センター(韓国)
皮膚科 教授・科長

Soyun Cho, MD, PhD
Seoul National University Boramae Medical
Center, Korea



デズモンド・J・トービン 博士
ダブリン大学医学部(アイルランド)
チャーレズ皮膚科学研究所 所長
医学部 皮膚科学 教授

Desmond J Tobin, PhD
University College Dublin School of
Medicine, Ireland



仲川 清隆 博士
東北大大学(日本)大学院農学研究科
教授・副研究科長

Kiyotaka Nakagawa, PhD
Tohoku University, Japan



ゲイリー・フィッシャー 博士
ミシガン大学(アメリカ)分子皮膚科学
寄付講座教授
光生物学および加齢研究ラボラトリー 所長

Gary Fisher, PhD
University of Michigan, USA



デイビッド・ファーマン 博士
スタンフォード大学(アメリカ)
「1,000人免疫プロファイル研究プロジェクト」
ディレクター
バック老化研究所 AIプラットフォーム
主任研究員・准教授

David Furman, PhD
Buck Institute for Research on Aging, USA



エミリー・ホー 博士
ライナス・ボーリング研究所(アメリカ)
オレゴン州立大学 ライナス・ボーリング研究所
特任教授・所長
オレゴン州立大学 健康学部 名誉教授

Emily Ho, PhD
Linus Pauling Institute, USA



チ・ヨセフ 博士
HEM Pharma(韓国)CEO
Yosep Ji, PhD
HEM Pharma, South Korea



メアリー・アン・ライラ 博士
ノースカロライナ州立大学(アメリカ)
人の健康のための植物研究所 所長
食品・バイオプロセス・栄養科学学科
デイヴィッド・H・マードック名誉教授

Mary Ann Lila, PhD
North Carolina State University, USA



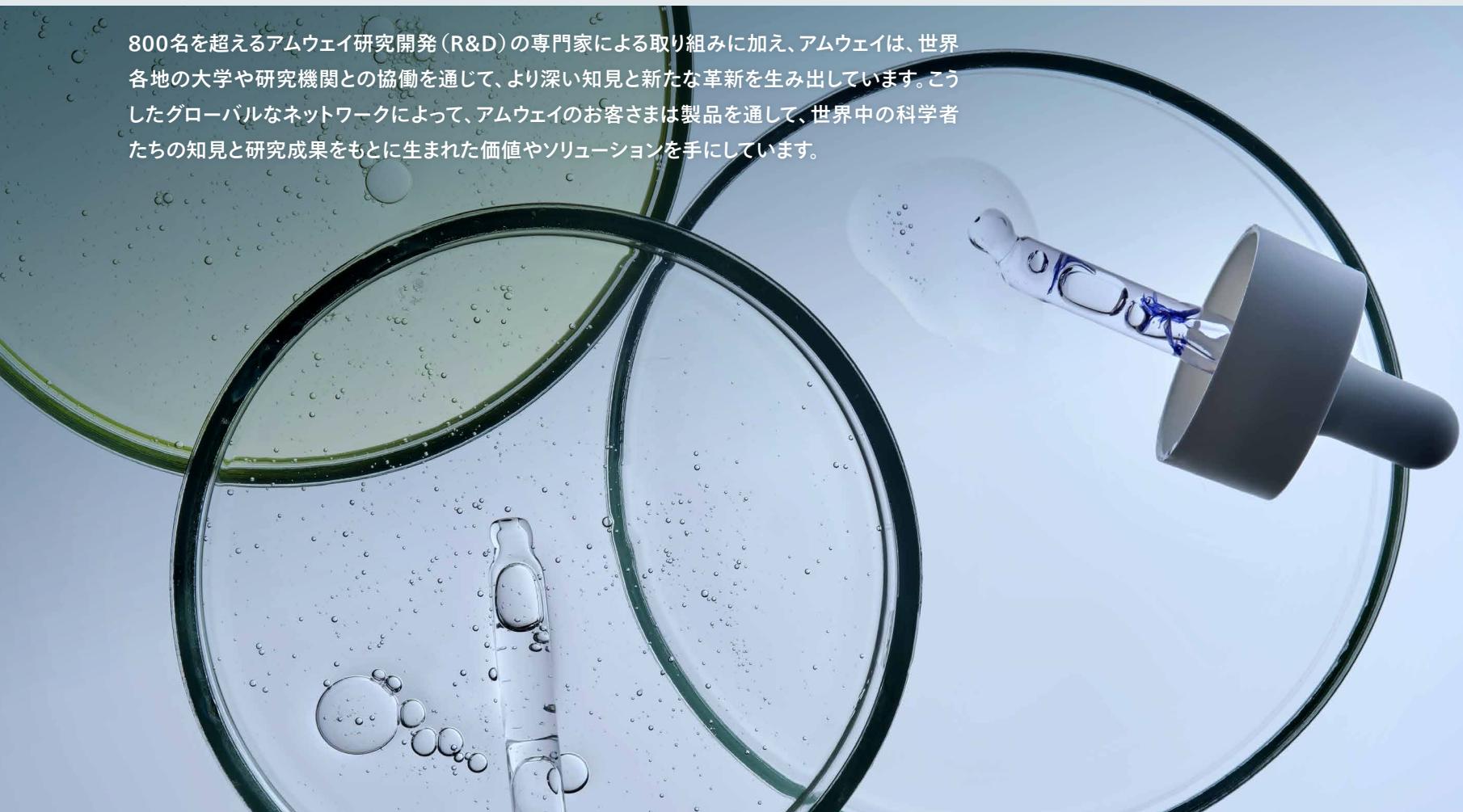
エリック・ラヴァッサン 博士
ルイジアナ州立大学 ペニントン生物医学研究所
(アメリカ)ボイド教授
ダグラス・L・ゴードン糖尿病・代謝学特任教授

Eric Ravussin, PhD
Pennington Biomedical Research Center at
Louisiana State University, USA

Scientific Collaborations

科学を軸にした協働

800名を超えるアムウェイ研究開発(R&D)の専門家による取り組みに加え、アムウェイは、世界各地の大学や研究機関との協働を通じて、より深い知見と新たな革新を生み出しています。こうしたグローバルなネットワークによって、アムウェイのお客さまは製品を通して、世界中の科学者たちの知見と研究成果をもとに生まれた価値やソリューションを手にしています。



大学・研究機関との協働

マイクロニュートリエント情報センター
オレゴン州立大学 ライナス・ポーリング研究所
(アメリカ・オレゴン州)

Micronutrient Information Center
The Linus Pauling Institute at Oregon State University, Oregon, USA

MIC(マイクロニュートリエント情報センター)は、一般の方から研究者まで幅広く活用できる、最新の研究・科学論文・ウェビナーなどを集約したオンライン情報プラットフォームです。このセンターは、アムウェイ研究基金によるアメリカ・オレゴン州立大学ライナス・ポーリング研究所への寄付によって一部支援されています。掲載されている論文の中には、アムウェイの専門家が共同で執筆したものも含まれています。腸内マイクロバイオームに関する情報をまとめた際に参考となる、特に優れた2つの論文がMICに掲載されています。

スタンフォード WELL for Life (ウェル・フォー・ライフ)
研究プロジェクト

スタンフォード大学 医学部 (アメリカ・カリフォルニア州)

Stanford WELL for Life Stanford School of Medicine, California, USA



ミシガン大学 (アメリカ・ミシガン州)

University of Michigan
Michigan, USA



アムウェイとミシガン大学の研究者たちは、加齢の指標(メトリクス)を科学的に分析し、健康的な加齢に関わるマーカーや特徴を特定する研究を進めています。さらに、紫外線と炎症の関係、肌の健康やスキンマイクロバイオームに関する複数の継続的研究、口腔マイクロバイオームと腸内マイクロバイオームのつながりが全身の健康に及ぼす影響、そして、植物栄養を基盤としたプレバイオティクスが、口腔の健康とマイクロバイオームの安定に与える作用など、多様な研究プロジェクトを展開しています。また、アムウェイは、大学からレチノールおよび抗シワ技術を活用しています。

「WELL for Life(ウェル・フォー・ライフ)」は、アムウェイ ニュートリライト・ヘルス・インスティテュート・ウェルネス基金による1,000万ドルの無償寄付をもとに実施されている研究プロジェクトです。本研究は、スタンフォード大学が独立して運営しています。このプロジェクトは、食事・ライフスタイル・環境要因が長期的なウェルネスにどのような影響を与え、健康的な加齢(ヘルシーエイジング)にどのように貢献するかを分析する、これまでに類を見ない新しい研究です。



ミュンヘン工科大学 (TUM) (ドイツ・ミュンヘン)

Technical University of Munich (TUM)
Munich, Germany



公立研究大学であるミュンヘン工科大学(TUM)の研究者たちは、アムウェイの科学者と協働し、植物由来化合物が皮膚の線維芽細胞や幹細胞に及ぼす影響を研究しています。その目的は、細胞の健康維持や機能改善における可能性を明らかにすることです。この研究では、ターゲット課題への新たなアプローチ経路が発見され、健康的な肌への応用にも期待が高まる、画期的な成果が得られています。さらに、アムウェイの科学者によるコンピューターモデリング解析が、長年に及ぶ試験を短縮する大きな役割を果たしました。

グローバル・ウェルネス・サミット
(アメリカ・フロリダ州)

Global Wellness Summit
Florida, USA



アムウェイは、グローバル・ウェルネス・サミット特別企画「The Future of Wellness: 2025 Trends」の独占スポンサーとなりました。このレポートでは、今後数年にわたってヘルス＆ウェルネスの分野で注目されるトレンドを詳細に予測しています。本調査は、企業が新たな動向を見極め、製品開発や戦略の方向性を導くための貴重な示唆を提供しています。

民間企業とのイノベーション協働

ヒューマン・エフェクティブ・マイクロバクテリア (HEM Pharma) (韓国・水原)

Human Effective Microbes (HEM Pharma)
Suwon, South Korea



アムウェイは2020年1月、HEM Pharma社と戦略的提携を締結しました。この提携は、腸内環境の健康を通じてウェルネスを支援するパーソナライズド・プロバイオティクスの開発を目的としています。研究では、免疫機能や体重管理、脳や肌の健康など、さまざまな健康分野への応用が期待されています。HEM Pharma社は、アムウェイが少数株主として出資する民間企業で、独自の PMAS(Personalized Pharmaceutical Meta-Analysis Screening) 技術を活用しています。この技術を用いて、食事や栄養、プロバイオティクスなど、腸内環境に影響を与える要因に対して、腸内細菌がどのように反応するかを分析・予測しています。こうした研究を通じてアムウェイは、腸内マイクロバイオームの働きをより深く理解し、一人ひとりの健康とウェルネスにどのように役立てられるかを科学的に探究しています。

産業・業界団体および科学関連団体

ボタニカル・セーフティ・コンソーシアム

Botanical Safety Consortium (BSC)



BSC(ボタニカル・セーフティ・コンソーシアム)は、植物由来成分の安全性を高めることを目的とした、官民が協力する国際的な研究連携組織です。BSCでは、これまでに蓄積された植物の安全性や毒性に関するデータを、最新の毒性学的手法と組み合わせて活用する仕組みづくりが進められています。この取り組みには、世界中の専門家や関係機関が参加しており、植物の安全性評価をより高度で明確なものにすることを目指しています。

国際プロバイオティクス・プレバイオティクス学会

International Scientific Association of Probiotics and Prebiotics (ISAPP)



ISAPP(国際プロバイオティクス・プレバイオティクス学会)は、プロバイオティクス、プレバイオティクス、シンバイオティクス、ポストバイオティクス、そして発酵食品の分野において、科学的卓越性の発展を牽引する国際学術組織です。世界を代表する科学者たちが集い、これらの研究や理解のあり方に新しい視点と枠組み(パラダイム)をもたらしてきました。また、ISAPPの産業諮問委員会(Industry Advisory Committee)に所属するメンバーは、グローバルなネットワークの中で、協働とイノベーションを軸に、プロバイオティクスとプレバイオティクス科学の発展を支える国際コミュニティを形成しています。

アメリカ栄養学会

American Society of Nutrition (ASN)



ASN(アメリカ栄養学会)は、栄養学の科学・教育・実践の発展を通じて、人々の健康とウェルビーイングの向上に貢献する専門機関です。

栄養補助食品業界団体国際連合会

International Alliance of Dietary/ Food Supplement Associations (IADSA)



International Alliance of Dietary/ Food Supplement Associations

IADSA(栄養補助食品業界団体国際連合会)は、各国・地域・グローバルレベルでの制度や政策に関する専門知識と経験を有する、世界を代表する国際機関です。各国政府や関連団体が、信頼できる国際的な情報と指針を求める際の主要な参照機関として、重要な役割を担っています。また、IADSAの加盟企業および団体は、サプリメントの可能性を最大限に引き出し、健康で健やかな社会の実現に貢献することを共通の使命としています。

グローバルEPA・DHAオメガ3組織

Global Organization for EPA and
DHA Omega-3s (GOED)



GOED(グローバルEPA・DHAオメガ3組織)は、世界のEPAおよびDHAオメガ3業界を代表する国際組織です。その会員資格は、市場の中でも類を見ない厳格な品質基準の上に成り立っています。GOEDの使命は、供給源を問わずEPA・DHAオメガ3の摂取を広めること、そして、消費者が信頼できる高品質な製品を加盟企業が確実に提供できるようにすることです。

パーソナルケア製品協議会

Personal Care Products Council (PCPC)



PCPC(パーソナルケア製品協議会)は、1894年に設立された、世界の化粧品・パーソナルケア製品業界を代表する主要団体です。現在、約600社の会員企業が加盟しており、そのネットワークは米国のビューティー業界の約90%を占めています。会員企業には、世界でも最も愛され、信頼される美容・パーソナルケアブランドが名を連ねています。日々何百万人もの人々が使用する日焼け止め、歯みがき、シャンプー、保湿クリーム、マイク、フレグランスなど、幅広い製品の製造・流通・原料供給を担うPCPCの加盟企業は、安全性、品質、そしてイノベーションへの搖るぎないコミットメントを持つ、世界のビューティー業界のリーダーです。

米国栄養評議会

Council for Responsible Nutrition (CRN)



CRN(米国栄養評議会)は、栄養補助食品および機能性食品の製造業者・原料供給企業を代表する米国の業界団体です。会員各社が、科学的根拠に基づく栄養補助食品や機能性食品、およびその原料を責任を持って開発・調達・製造・販売できる環境を守り、その発展を支援しています。また、規制当局、医療専門家、メディアに対し、科学的根拠に基づく情報を提供することで、栄養成分やサプリメントの安全性と有用性への理解を促進。さらに、科学に裏付けされた健全な栄養・食品安全政策の推進にも貢献しています。

アメリカハーブ製品協会

American Herbal Products Association (AHPA)



AHPA(アメリカハーブ製品協会)は、ハーブおよびナチュラルプロダクト業界を代表する米国の業界団体です。AHPAは、ハーブ製品の責任ある持続的な流通と取引を推進し、消費者が安全で多様なハーブ製品に関する正しい情報を得ながら、安心して利用できる環境の実現を目指しています。AHPAのビジョンは、高品質なハーブ製品が広く行き渡り、多くの人々の生活の中で自然に取り入れられる世界を築くことです。

ASEAN健康補助食品協会

ASEAN Alliance of Health Supplement Associations (AAHSA)



AAHSA (ASEAN健康補助食品協会) ASEAN各国の規制当局と連携し、地域全体での健康補助食品の共通基準の整備を推進しています。AAHSAは、広範な地域的・国際的な科学的および技術的知見へのアクセスを提供し、各国で策定が進められている規制枠組みの影響に関する専門的な指針を示すことで、健全で一貫性のある市場環境づくりを支援しています。

欧州食品サプリメント協会

Food Supplements Europe (FSE)



FSE (欧州食品サプリメント協会)は、欧州における責任ある栄養補助食品業界を代表し、公衆衛生、研究、そしてイノベーションの発展を通じて欧州の消費者の健康と利益に貢献する団体です。FSEは、企業、各国の業界団体、および食品補助食品に関わる規制・科学・技術機関との主要なパートナーとして、信頼に基づく連携を推進しています。

ラテンアメリカ栄養連盟

Latin America Alliance for Responsible Nutrition (ALANUR)



ALANUR (ラテンアメリカ栄養連盟)は、栄養補助食品に関する科学的知識の普及を通じて、ラテンアメリカ地域における責任ある利用を保証するための適切な規制枠組みの整備を支援する団体です。また、ALANURは、行政機関、研究者、科学コミュニティ、業界、そして消費者の視点をつなぐ架け橋として、栄養補助食品に関する理解と対話を促進しています。

Amway | 日本アムウェイ

日本アムウェイ合同会社 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-1 www.amway.co.jp

※この冊子のデータは2026年1月のものです。※この冊子はアムウェイの科学的信頼性を伝えることを目的としたものです。製品と関連づけて紹介はできません。

26010JAK